

# 毎日の 安心と安全

特集  
気付きで守ろう

プロの警備で  
安全の向上を  
ホワイトイーグル  
(p.8)

地域の力  
市民安全  
パトロール隊  
(p.8)

学生も楽しく  
まちに貢献  
学生  
パトロール隊  
(p.9)

過ごしやすい  
まちに  
ブルーキャップ  
(p.7)



## 安全・安心は暮らしの基盤

日々の生活が安全に過ごせることは、暮らしのもっとも大切な基盤です。私たちが毎日大変な家事や仕事、育児、勉強などに励み、未来の目標や幸せに向かって努力するのは、明日も変わらず平穏な日が来ると信じていることができるからです。

しかし、安全な毎日はいつでも保証されているとは限りません。市では、平成25年に強盗殺人事件、児童連れ去り未遂事件と2件の重大犯罪が続ぎ、市民の心を大きく揺さぶりました。

以来、防犯対策の重要性が再認識され、市民と行政によるさまざまな取り組みが始まり、現在まで続いています。

防犯の基本は不審な人・物の暮らしに「気付く」こと。毎日の暮らしに「ちょっとした」「注意」を加えて、いっそう「安全・安心なまち」を、皆で築き上げていきましょう。

環境浄化  
活動

## 風紀の乱れを防ぎ 気持ち良いまちに

人が集まるまちでは、重大犯罪でなくても、小さなトラブルや事故が日々発生します。  
そうした問題と向き合い、平穏な日常を守る人たちがいます。



### ブルーキャップ

平成14年に発足し、吉祥寺駅周辺で問題となっていた「つきまとい勧誘行為」や「路上宣伝行為」などマナーの悪い行為を指導しています。その取り組みによって、問題となっていた行為は着

実に減少。現在は、迷子の保護や傷病人の救護、地理案内なども行うなど、「まちのコンシェルジュ」のような存在として、駅周辺の風紀を守っています。

#### ブルーキャップの活動内容

つきまとい勧誘行為の指導と警告、路上宣伝行為の適正化、地理案内、拾得物の届けと迷子の保護（警察へ）、傷病人の救護（救急隊へ）

### 吉祥寺ミッドナイトパトロール隊

平成25年から活動を開始した深夜帯のパトロール隊。終電までの繁華街や人通りの少ない住宅街などを中心に見回りを行い防犯に努めています。ブルーキャップ

の活動が終了する時刻とホワイトイーグルが活動を開始する時刻の間を活動時間とし、吉祥寺地区は実質的に3隊で24時間の防犯パトロール態勢を維持しています。



### 防犯カメラの増設

防犯カメラは、犯罪の発生抑止と、発生した犯罪の立証の両面から有用です。ただし、むやみな設置はプライバシーの問題にも関わるため、商店街など地域市民との理解や協議の機会を得

て、効果的な設置を進めています。平成24年度には市内で74台でしたが、平成28年度までに、商店街を中心とした街頭防犯カメラは227台、通学路防犯カメラは60台設置されています。

困っている人を助けようという気持ちがあると、自然と異変や異常にも気づきやすくなると思います。



ブルーキャップ隊員  
三浦直哉さん

迷惑行為は減りましたが、人が集まる場所ではトラブルも多くなります。迷子や紛失など、困っている人を見かけたら、声を掛けるか、ブルーキャップに知らせてください。互いの助け合いによって迷惑行為はさらに減り、まちはますます過ごしやすくなるはずですよ。  
(安全対策課)

！  
互いの気配りが  
まちをもっと快適に

犯罪  
防止

# 犯罪を未然に防ぐ さまざまなパトロール

パトロールは犯罪の未然防止に欠かせない基本的な対策です。市民の大きな協力によって、市内では多数のパトロール隊が行動しています。

## ホワイトイーグル

平成14年に発足した青色防犯パトロール隊です。「青色防犯」とは、青色の回転灯を装備した自動車を用いて行われる防犯活動で、適切な防犯パトロールを実施できると警察に認められていることを示します。ホワイ

トイーグルは現在、市内132施設の立ち寄りと113カ所の周辺警戒を行っています。隊員は定期的に武蔵野警察署と情報交換を行い、効果的な防犯活動に努めています。



## 防犯教育にも活躍

小学校や児童館、保育園などで防犯講話を行い、子どもたちと触れ合いながら、子どもが自らの安全を守るための知識や対応について伝えました。

平成28年度は市内児童施設などで合計15回の「セーフティ教室」を行っています。



子どもたちの安全に関して不安なこと、不審に感じるなどを見つけたら、いつでもお声掛けください。



ホワイトイーグル隊員  
藤本昭博さん

## 市民安全パトロール隊

平成16年に始まった、市民によるパトロール隊です。通常の自主防犯組織と異なり、最低週1回のパトロールと報告書の提出、月に1回の会合で隊員・警察署および各種パトロー

ル隊により情報交換を行うなど、一定の職務が定められています。まちを熟知する市民だからこそ、細かい異変にも気が付きやすく、地域に密着したパトロールを実現しています。



互いにあいさつや声を掛けあうと顔見知りが多くなり、それだけで大きな防犯効果につながります。



市民安全パトロール隊員  
富岡光さん

犯罪をたくらむ人は、自分の存在に気付かれることを嫌います。地域の安全を守るためには、地域内の顔見知りを増やし、不審な人にはあいさつなどで声掛けをすることが効果的です。近年は、隣人の顔も知らないといった状況が珍しくありません。近所の方と普段からあいさつを交わすだけでも、互いが不審な人物に気付きやすくなりますし、災害時にも助け合うことができます。地域のコミュニケーションを大切にしましょう。(安全対策課)

あれ？と思ったら  
あいさつと声掛けを

## 防犯協会と各地区の防犯組織

市内には各地区に多数の自主防犯組織が存在し、定期的な会合などによって警察や市と情報交換、意見交換を行っています。

### 市内各地区の自主防犯組織

東地区	武蔵野防犯協会、母の会、吉祥寺商店街パトロール隊、吉祥寺南町防犯パトロール隊、東四光和会防犯パトロール隊、吉祥寺北町防犯パトロール隊、ガーディアンエンジェルス
中央地区	武蔵野防犯協会、母の会、中町防犯パトロール隊、かたらいロード隊、武蔵野ワンワンパトロール隊、武蔵野ワンワンパトロール隊けやき並木ワンパト会、関前・八幡町防犯パトロール隊、西久保ハッピークラブ防犯パトロール隊、西久保・五小地区パトロール隊
西地区	武蔵野防犯協会、母の会、さくらの防犯パトロール隊、境防犯パトロール隊、境5丁目防犯パトロール隊、境南町防犯パトロール隊



### 市民安全大会への参加

市が毎年開催する「市民安全大会」には、市民と市が一体となって、安心して暮らせるまちづくりを目指すため、自主防犯組織を含む多数の関連機関・団体が集まり、各活動の報告などを行っています。

## 学生パトロール隊



学生パトロール隊・矢島里紗さん（大学4年生）。今年の三鷹市との合同パトロール事業の企画・立案を担当した。



平成28年度に行われた武蔵野市・三鷹市合同パトロールの様子。平成29年度は12月11日に実施した。

### パトロールに参加することで地域がもっと好きになりました



学生パトロール隊は、平成25年の事件をきっかけに発足しました。現在は他地域の大学生も参加し、7名で月に1～2回、市内各地で行われているパトロールや行事に参加しています。

私は自宅が吉祥寺駅に近く、通学でも毎日駅を使うので、事件はとてもショックでした。昨年、たまたま三鷹市との合同パトロールに参加したことで、学生パトロール隊の方に誘われ、活動を始めました。自分がよく知っている地域でも、パトロー

ルで歩くと防犯カメラがない通りや気付かなかった狭い路地などを知り、参加してみる大切さを実感しました。また、他大学の学生やさまざまな機関の方と出会い、交流が広がることもうれしいですね。

地域のつながりが希薄化したといわれる現代だからこそ、パトロール参加の意義を感じます。地域のことが今まで以上にわかり、もっと好きになりました。多くの方にぜひ参加してほしいです。

犯罪  
防止

# 大切な家族を守ろう 振り込め詐欺対策

全国的に有名になった詐欺行為ですが、依然として「詐欺の電話がかかってきた」との市内報告は変わらず、警戒が必要です。

## 振り込め詐欺予防の重要性

市内では振り込め詐欺以外にも、自転車の盗難や万引きといった事件が発生していますが、いずれも防犯対策の充実によって発生件数は年々減ってきています。しかし、振り込め詐欺をはじめとする高齢者を狙った特殊詐欺は、依然として変わらず、被害額も大きいので、さらなる警戒が必要です。

## 振り込め詐欺の被害件数と被害額

平成24年	被害28件／被害額 203,307,910円
平成25年	被害27件／被害額 48,343,704円
平成26年	被害33件／被害額 124,656,032円
平成27年	被害22件／被害額 48,828,721円
平成28年	被害20件／被害額 172,965,369円

(武蔵野警察署の発表より)

## 多様化するさまざまな振り込め詐欺の例

### ● オレオレ詐欺

電話に出た高齢者の家族になりすまし、さまざまな名目で金銭の振り込みを要求します。家族の事故を扱う警察官や弁護士になりすます例もあります。

### ● 還付金詐欺

自治体や年金事務所の職員を名乗って、還付金を受け取るための手続きと称して、ATMの操作をさせ、犯人への振り込みを行わせます。

### ● 融資保証金詐欺

封書やチラシ、ファクスなどで融資を求める人を募り、申し込んで来た人に対して、融資の前に保証金の振り込みが必要だと要求します。

### ● 架空請求詐欺

実際には契約していないサービスの料金を延滞費用などを請求する文書やメールを送り、その費用を振り込ませようとする詐欺です。



## 振り込め詐欺の周知と予防

警察署および市では、さまざまな振り込め詐欺防止キャンペーンを実施し、詐欺の周知と予防を呼びかけています。また、市内で振り込め詐欺の発生が確認されたときに、武蔵野警察署との連携で、ホワイトイーグルのパトロールカーから「振り込め詐欺防止」を訴える放送を行うなど、さまざまな取り組みを行っています。



無料で借りることができる  
自動通話録音機

市では65歳以上の方に自動通話録音機を無料で貸し出しています。この機械は通話時にまず「録音しています」と音声を流すため、犯人は犯行をあきらめ電話を切ってしまうます。また、自宅の電話を常に留守番電話に設定し、知人だった場合だけ受話器を取るという方法も勧められています。いずれも高齢者本人の対策を待つより、家族から啓発することが効果的です。高齢者の家族を持つ方はぜひ声掛けをしてください。

(安全対策課)

！  
本人任せにしない  
家族の声掛けが効果的

国民  
保護

## 国との素早い連携で 行政の責任を果たす

安全対策の中には、国や国の機関との連携が必要な事案もあります。  
市民を守るため、市が取り組んでいる活動を紹介します。

### J-ALERT (全国瞬時警報システム)

有事に関する情報などを、市内の防災行政無線などで放送します。市では平成23年から運用を開始しています。近年の脅威となっている弾道ミサイルの落下が警告された場合は、直ちに近くの建物か地下に避難し、窓から離れてください。頑丈な建物を探すことよりも、まずは屋内に避難することを優先しましょう。

詳しくは <http://www.kokuminhogo.go.jp> もご覧ください。



### 新型インフルエンザなど 感染症対策

市内で、新型インフルエンザや熱帯病などの感染症が流行してしまった場合に適切な対応が取れるよう、関係機関との情報交換・意見交換を行っています。また、過去に発生した感染症などを参考に、対策訓練も実施しています。



### テロ対策実動訓練

テロが発生した際に協力が必要な関係機関と市の連携を強化するため、毎年、関係機関との合同実動訓練を実施しています。平成29年は、実動訓練前に警視庁による一般向けの研修会も実施し、市全体での対策意識の向上を図りました。



市民の安全を守るため、さまざまな危機に対してアンテナを張って情報を集め、対策を計画していきます。



安全対策課  
新井 浩 課長

## 皆さんの関心とご協力によって まちの安全・安心は大きく高まります

国民保護活動は、多くの市民の方にとってはなじみが薄いと思います。市では国や東京都の方針を踏まえた「国民保護計画」を作成し、国民保護措置に関する基本方針を定めています。ほかにもさまざまな危機管理対策が必要となるためテロ対策やミサイル対応のほか、不発弾の発見、新型インフルエンザの流行などを想定した対策も行っています。

いずれも突発的に起きて大きな被害が出たり、市外から専門的な人材や機関の助けが必要となった

りする事象です。行政として迅速に対応できるよう、関連機関との情報交換で連携態勢を整えるほか、年4回の訓練を行っています。

とはいえ、安全対策は行政だけでなく、皆さんの力と理解が不可欠です。近年は国際的な脅威によりJ-ALERTが広く知られる存在になりましたが、関心が高まることでさまざまな声をいただく機会が増えました。

今後も危機管理に関する情報提供に努めますので、皆さんも関心を持っていただければ幸いです。